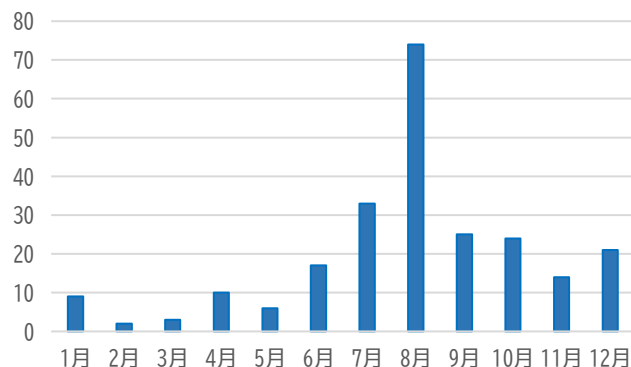


福島市保健所 感染症だより 8月号

夏に多発、「腸管出血性大腸菌感染症」を予防しましょう

大腸菌は約 180 に分類され、健康な人の腸管内にも存在します。そのほとんどが無害ですが、出血を伴い、腸炎などを引き起こすものもあり、それらを「**腸管出血性大腸菌**」といいます。代表的なのは O157 ですが、少量の菌で発症し、**感染力が強く**、重症化することもあります。高温多湿な環境で増殖しやすいため、特に夏場に注意が必要です。

R2～R6 福島県腸管出血性大腸菌感染症月別発生状況



【感染経路】

・経口感染や接触感染

(汚染された飲食物を口にしたり、感染者の便に触れた手を介し、菌が口から入ることで感染します)

【症状】

- ・激しい腹痛
- ・水溶性の下痢、血便

【潜伏期間】2～9日



【厚生労働省】
腸管出血性大腸菌 Q&A



【厚生労働省】
お肉はよく焼いて食べよう

【予防のポイント】

- ①調理の前後や、食事の前、トイレやおむつ替えの後
は、**石けん**と**流水**で十分に手を洗いましょう
(タオルは**共有しない**)
- ②生肉等は**中心部**まで十分に加熱しましょう
(**75℃以上で1分以上**)
- ③焼肉等では、生肉専用のものと、**食べる箸**を使い分
けましょう
- ④患者のいる家庭では、排泄物に汚染された下着等の
取り扱いに注意しましょう(塩素系消毒液でつけ置きし
てから家族のものと分けて洗濯しましょう)



【厚生労働省】食中毒より抜粋

●消毒液の作り方

- ・家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む**塩素系漂白剤**でも代用ができます
- ・効果が薄れるため、**作り置きはしない**でください
- ・次亜塩素酸ナトリウムは、**手指消毒で使用しない**等取り扱いに注意してください

※次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方は、下記 QR コードの作り方を参照ください。



【厚生労働省】
新型コロナウイルス対策
身のまわりを清潔にしましょう



【厚生労働省】
ノロウイルスリーフレット

虫が媒介する感染症に注意！

夏は、野外活動が増える時期です。これからの季節は、蚊やダニが多くなるため、野外活動や農作業、レジャー、海外に行く際にもしっかり予防して出かけましょう。

虫媒介の感染症とは？

ウイルスや細菌等の病原体を持つ蚊やダニに刺されたり、かまれたりすることで感染する病気です。

【蚊が媒介する感染症】

日本脳炎・デング熱・チクングニヤ熱・ジカウイルス感染症 など

【ダニが媒介する感染症】

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病 など

【症状】頭痛や発熱、発疹、刺し口の腫れ など

【予防】

①明るい色で肌の露出が少ない服装
(帽子・手袋の着用、首にタオルを巻く など)



【厚生労働省】
蚊媒介感染症



【厚生労働省】
ダニ媒介感染症

②虫よけ剤を使用する(ディートやイカリジンが含まれるもの)※ディート使用には年齢制限があります

【予防～ペット編～】

①ペットが外から帰宅したらダニがいないか確認

②ダニが皮膚に食い込んでいる場合は動物病院へ

※ダニ駆除剤の使用等については獣医師に相談ください



マダニの大きさ ↓



厚生労働省「マダニに注意ダニヤン!!」
より抜粋

●ダニにかまれた時の対処法

①無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置をしてもらう

②かまれた後、数週間は体調の変化に注意し、発熱等の症状がでた場合は

速やかに医療機関を受診してください



夏休みを利用して予防接種を受けましょう！

子どもの定期予防接種は、免疫がつきやすいよう、接種年齢や回数・間隔などが法律で定められています。登録医療機関で無料(公費負担)で接種することができますが、法律で定められたワクチン以外は、任意予防接種(全額自己負担)となります。

母子健康手帳などで確認して、接種していない予防接種があれば、夏休み期間を利用して接種しましょう！



【福島市 HP】
定期予防接種を受けましょう

発行日：令和7年7月31日 発行：福島市保健所 感染症・疾病対策課
住所：〒960-8002 福島県福島市森合町10-1
電話番号：感染症対策係 024-572-3152